

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 豊橋市立小沢小学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注1}

☐ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注2} ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒441-3122

E-mail ozawa - e@toyohashi.ed.jp

Website

幼児児童生徒数 男子 71 名 女子 61 名 合計 132 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「ふるさと小沢と家族を愛する子の育成」を学校理念として、ESDを地域とともに持続可能な社会づくりの担い手を育む教育と捉え、ESDの実践を通して、地域を理解し、地域を愛し、地域とともに生きる力の育成を目標とした。

具体的には、環境、食育、農園活動を柱に、①表浜海岸で産卵するアカウミガメに係わる活動、②ふるさと小沢の名産「小島梨」に係わる学習、③米や野菜作りを通してふるさと小沢を味わう活動、④ふるさと小沢のよさを見つける学習を行った。

① 表浜海岸で産卵するアカウミガメに係わる学習

4年生の総合的な学習の時間に、「守れ、ふるさと～アカウミガメ～」をテーマに、調べ学習を行った。地元の海岸である表浜海岸に産卵にくるアカウミガメを守るためには、どのような環境が大切なのか、自分たちでできることは何かについて学習した。また、校区にある「表浜まるごと博物館」に見学に行き、アカウミガメ保全活動を推進している専門家からアカウミガメが産卵できる美しい海岸や自然環境を残すことの大切さを学んだ。

② ふるさと小沢の名産「小島梨」に係わる学習

校区内に小島梨の生産農家が多いことから、3年生は、「小島梨のひみつを探ろう」をテーマに、本やインターネットで小島梨について調べ学習を行った。また、実際に小島梨の生産農家に見学に行き、開花の様子を観察したり、梨の実ができる頃には、袋かけ体験をしたりした。9月の収穫時には、自分の顔ほどに大きく育った小島梨の収穫を体験し、地域の特産物である小島梨についての理解を深めた。また「小島なしの皮むき大会」で学習の成果を発表した。

9月1日、20回目を迎えた「小島なしの皮むき大会」を全校で行った。地元特産の小島梨を知るとともに、刃物の安全な扱い方を知る機会となった。

③ 米や野菜作りを通してふるさと小沢を味わう活動

5年生の総合的な学習の時間に、地域教育ボランティア（農業環境委員）の協力・指導を受けながら、地元特産の品種である「女神のほほえみ」の田植え体験をした。また、収穫時には、一人一人が鎌を持ち、稲刈りから脱穀までの活動を体験した。さらに、学校の農園では、全校児童が、サツマイモやブロッコリー、タマネギなどを栽培した。これらの活動を通して、作物栽培の楽しさや農家の方々の苦勞を知り、地域の方々への親近感や感謝の気持ちを抱くことができた。

④ ふるさと小沢のよさを見つける学習

1年生の生活科の学習では、自然豊かな「ふるさと小沢」のよさを見つける活動を行った。校区にある公園や東観音寺の広場に出かけていき、秋の自然にたっぷりと浸った。そこで、どんぐりやまつぼっくり、オナモミといった秋の自然物を見つけ、それらを使って秋のお店屋さんを開いた。当たり前になって見過ごしていた校区の自然の豊かさに改めて気づいた1年生は、もっとふるさと小沢の秋や冬を楽しみたいと活動の幅を広げていった。



① 表浜まると博物館の見学



② 小島梨の見学・収穫体験



③ 品種「女神のほほえみ」田植え



④ 東観音寺での秋見つけ

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他(農園活動)		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 学校行事)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- ・アカウミガメ保護啓発リーフレット 豊橋市環境部環境保全課
- ・地域ゆいプロジェクト表浜まるごと博物館リーフレット
- ・渥美半島フィールドマップ 表浜まるごと博物館
- ・表浜外来植物調査マップ 桜丘高等学校生物部
- ・砂浜とアカウミガメリーフレット NPO 法人表浜ネットワーク

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

４年生の「守れ、ふるさと～アカウミガメ～」や３年生「小島梨のひみつを探ろう」は、総合的な学習の時間に位置づけ、計画的に行っている。

地域に住むアカウミガメの自然環境保全活動を推進している方や地元の梨農家の方々の協力を得て、調べ学習の中で生まれた課題や疑問について専門家の知識や経験をもとに話を聞き、解決する時間を設けている。

農園活動についても、年間計画や教育課程の総合的な学習の時間に位置づけ、保護者や地域ボランティアの協力を得て、計画的に活動している。

総合的な学習や生活科の学習だけでなく、学校行事や各教科、特別活動などを関わらせて、横断的な学習を行っている。また、農園活動で収穫したものを食するまでの課程を食育として位置づけている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

年間行事予定表にきちんと明記し、計画的に実施するようにしている。さらに各学年の教育課程に学習内容や活動内容を位置づけ、毎年、次年度の反省をもとに改善し、よりよい活動できるようにしている。

保護者や地域の方々の協力を得て行う農園活動については、計画的に活動できるように密に連絡や調整を図り、取り組んでいる。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部／外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

- ・ 児童の取り組みについて、発表や振り返りによって活動に対する成果や課題を把握している。
- ・ 行事等では、教員の事後の反省やアンケートにより、改善を図っている。
- ・ 学校評議員による評価、保護者の学校評価をもとに、今年度の取り組みについてまとめ、次年度に向けての改善していく。
- ・ 今後もＥＳＤの視点に立った教育活動を展開していきたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（２００字程度） ※チェック事項 2-2 に対応

- ・学級、学校だより、ホームページなどにより地域に発信している。
- ・総合的な学習の時間に学習した内容や成果を各学年に応じてまとめ、授業参観等で保護者に発表した。
- ・ユネスコスクール豊橋大会でESD活動のポスターを展示した。
保護者や地域の方々に、児童の学習の成果や小沢小学校のESD活動の取り組みについて発信することで、保護者や地域の協力を継続して得ることができている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）（２００字程度）
※チェック事項 2-3 に対応

4年総合的な学習「守れ、ふるさと～アカウミガメ～」では、表浜まると博物館へ見学に行き、アカウミガメ保全活動を推進している表浜ネットワークの田中さんから、アカウミガメが産卵できる自然環境を守ることの大切さを学んだ。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（２００字程度）
※チェック事項 2-4 に対応

ユネスコスクール豊橋大会において、ESD活動に関するポスターの展示を行った。また、発表校である南部中学校や章南中学校の公開授業に参加し、ESD活動の取り組みについて学んだ。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

ふるさと小沢の特産物である「小島梨」に係わる学習や小島梨の皮むき大会、学校田や農園での米・野菜作りは、保護者・地域の協力によるところが大きい。児童が、保護者や地域の方々と一緒に活動することで、地域と自分とのつながりを実感し、さまざまな人とのコミュニケーション能力も育ちつつある。ふるさと小沢のよさに気づき、ふるさと小沢を愛する心が育まれている。自分の生まれ育った地域を知り、愛着をもって、この「ふるさと小沢」をこれからも守っていこうとする意識が高まっている。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

- 表浜海岸で産卵するアカウミガメに係わる学習
 - ・ 4 年「守れ、ふるさと～アカウミガメ～」表浜まるごと博物館の見学
- ふるさと小沢の名産「小島梨」に係わる学習
 - ・ 3 年「小島梨のひみつを探ろう」
開花から収穫までの観察や体験活動をする。
 - ・ 全学年による「小島梨なしの皮むき大会」
第 21 回目を迎える学校行事。特産物である小島梨を知り、味わう。
- ふるさと小沢を味わう活動
 - ・ 全校児童による学校農園でのイモやブロッコリーの栽培・収穫
 - ・ 5 年「目指せ！米作り名人」
地域の環境農業委員さんにご指導いただきながら、米作りをする。
 - ・ 収穫した野菜、米などを調理して味わう。（感謝の会）
- ふるさと小沢のよさを見つける学習
 - ・ 1 年 生活科「あきとなかよし」校区内の神社・公園での秋見つけ